

発行 法政大学での学生弾圧（暴処法弾圧）に抗議し、8学生の即時釈放を求める全国声明 事務局

【呼びかけ人】入江史郎（スタンダード・ヴァキューム石油自主労働組合・中央執行委員長）／西川重則（平和遺族会全国連絡会代表）／高 英男（全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部・副執行委員長）／田中康宏（国鉄千葉動力車労働組合・執行委員長）／中野 洋（国鉄千葉動力車労働組合・常任顧問）／足立昌勝（関東学院大学教授）／荻野富士夫（小樽商科大学教授）／富山一郎（大阪大学教授）／高山俊吉（裁判員制度はいらない！大運動・弁護士）／葉山岳夫（救援連絡センター代表弁護士）／鈴木達夫（国労5・27臨大闘争弾圧裁判主任弁護士）／内海亮子（法大生・内海佑一君の家族）／織田美喜子（東北大生・織田陽介君の家族）／恩田英一（法大生・恩田亮君の家族）／倉岡靖子（法大生・倉岡雅美さんの家族）／斎藤真人（法大生・斎藤郁真君の家族）／増井誠一郎（法大生・増井真琴君の家族）

【連絡先】国鉄千葉動力車労働組合 〒260-0017 千葉市中央区要町2-8 DC会館内
電話 043-222-7207 FAX 043-224-7197

8学生を奪還したぞ！



●写真上：昨年12月22日に保釈を勝ち取った倉岡さん、斎藤君、富山君（左から）。

●写真左：昨年12月28日に全員の保釈を勝ち取った。新井君、増井君、斎藤君、織田君（後列左から）。恩田君、倉岡さん、内海君（前列左から）。いずれも東京拘置所前にて。

2010年の国鉄・法大決戦へ攻め上ろう！

昨年末、御用納めの12月28日、ついに8学生全員を取り戻しました！ 12月22日に釈放を勝ち取った4・24集会弾圧グループの斎藤君、倉岡さん、富山君の3人に次ぐ歴史的な大勝利です！

8学生は、「仲間との団結の勝利だ。この団結が、連日の転向強要や長期勾留を打ち砕

いた」（倉岡さん）と高らかに訴え、「労働者と学生の団結の力で自分は今ここに奪還された」（新井君）と確信しています。

昨年4・24集会の不当逮捕から9ヶ月、8学生とともに闘い抜いてきた全国・全世界の労働者・学生・農民・市民のみなさん！本当にありがとうございました！

8学生の保釈・奪還は、文字通り法大当局・国家権力と一歩も引かず闘ってもぎりとした歴史的勝利です。「検事側立証が終了する前に保釈はあり得ない」というのがこれまでの裁判の「常識」でした。しかし、暴処法弾圧裁判は検事側証人の半分も終わっていません。この許し難い「常識」を打ち破ったのは、まさに団結の力です。

とりわけ、全学連の仲間を先頭に闘われた最後の1～2週間の連日の裁判所前座り込み行動が徹底的に裁判所を追い詰めました。その中で、動労千葉とス労自主、被告の家族が先頭に立って呼びかけた「8学生の即時釈放を求める全国声明」も8322筆（1月13日現在）集まり、その力が保釈に対する検事側抗告をも粉砕したのです。

さらに10名の弁護団全員の不退転の決起が、登石・秋吉という反動裁判長を追い詰めました。25日には、面接を拒否する高裁の裁判長を夜中の11時まで追及して闘い、28日の奪還をもぎりとしたのです。

そしてなにより、この勝利の核心には、9ヶ月の死闘ともいえる長期勾留に完全黙秘・非転向で闘い抜いた8学生の団結があります。

「我々は裁かれに来たのではない。貴様らを裁きに来たのだ」と法大当局と国家権力の不正義を暴く毎回の公判で、検察の立証はいま



写真は、奪還に向けて全力で闘い抜いた裁判所前座り込み抗議闘争の様子(昨年12月17日)

やガタガタに崩れています。

また、この8学生の闘いが、処分や弾圧を許さない法大キャンパスでの新たな決起へとつながったことが「見せしめ弾圧」としての長期勾留を粉砕する決定的力となったのです。

みなさん！ 団結して闘えば勝てる時代が来ました！ 2010年は闘いの年です。動労千葉は、国鉄1047名解雇撤回、検修構内業務外注化絶対反対の安全闘争を学生と連帯して闘うと訴えています。8学生は、「全国学生でストライキをやりましょう！」（内海君）と檄を発しています。「教育の民営化」阻止、首切りと戦争に突き進む鳩山・民主党政権を労働者・学生の団結で打ち倒そう！

2010年もともに闘いましょう！

(全国声明運動事務局)

今後の裁判闘争のお知らせ

■暴処法弾圧グループ（刑事1部）

（恩田、増井、織田、内海、新井）

第8回→2月10日（水）13時半～

第9回→2月22日（月）13時半～

第10回→3月8日（月）13時半～

第11回→3月25日（木）13時半～

■4・24集会弾圧グループ（刑事17部）

（斎藤、恩田、増井、倉岡、富山、内海）

第8回→1月27日（水）13時半～

第9回→2月9日（火）13時半～

第10回→2月23日（火）13時半～

第11回→3月5日（金）13時半～

第12回→3月17日（水）13時半～

※公判の日には、曜日に注意してください。

※場所はいずれも東京地裁です。傍聴券の抽選があるので12時30分に地裁正門前に集合してください。

帰ってきました！

— 8人の学生の出獄アピール —

新井拓

(4・27－5・28法大弾圧被告)

団結のみが「法律」を吹き飛ばし歴史を動かす



12月28日に保釈・出獄を勝ち取りました。差し入れ、カンパ、公判傍聴など、獄中闘争への支援、そして法大闘争への共闘・連帯に心から感謝申し上げます。

ありがとうございます。

全国・全世界の労働者、学生が私たちに思いを寄せ、法大当局と国家権力への怒りを爆発させ、団結を強めてきたことは、獄中であっても伝わってきました。私を含む8学生は、この力によって獄中闘争・公判闘争を原則的に闘い抜くことが出来ました。これがまた、奪還の力でもありました。奪還への最終局面では、本当に仲間達が東京拘置所に突入・奪還しに来るのではと感じるほどの力でした。ただ、団結のみが「法律」を吹き飛ばし、歴史を動かす力を持つ！ 私はこの社会の革命を目指していますが、小規模ながら、この闘いの延長上に革命があると確信しました。

つまり、2010年は私たちの年です。あ



らゆる弾圧や困難を打ち破り、ともに、ただひたすらに前進しましょう！

内海佑一

(5・29法大弾圧被告、

法政大学被退学処分者)

闘えば絶対に勝てる！

闘う仲間の皆様との熱い団結の力で我々は年内奪還を勝ち取ることができました！！

改めて皆様に御礼申し上げます。ありがとうございました。



戦前からの悪法＝暴処法をも使った、文字通り法大当局と国家権力による最大級のエスカレーション攻撃たる今回の弾圧を打ち破って我々が



釈放された学生たちは、10日の国鉄千葉動力車労働組合の新年旗開き(上写真)、11日の三里塚芝山連合空港反対同盟の新年旗開き(下写真)に参加。これまで受けてきた支援・連帯のお礼と、2010年の闘いの決意をアピールしました。

奪還されたことの意義はとてつもなく大きいと思います。まずはこの勝利を徹底的に謳歌しようではありませんか！！

その上で2010年を迎えるにあたって、我々に問われている飛躍はとてつもなく大きいと実感しております。民主党・連合政権下での改憲・戦争と大恐慌・大失業の攻撃がさらに巨大な規模で吹き荒れ、これまでのいわゆる「左翼」勢力が雪崩を打って屈服・転向していく。そういった過程がすでに始まっています。そもそも鳩山や小沢は改憲論者であり、安保再編なども含めて2010年はまさしく60年

や70年をも超えるような巨大な階級決戦の年となろうとしています。

こうした歴史の転換点とも言うべき中で我々は本当に飛躍しなければならない。法大闘争も4年間の勝利の地平の上に、さらに画然と大きくしなければならない。そう強く感じております。

自分自身課題は山積みですが、文連などの仲間たちと共に断固この道を突き進んでいきたいと思ひます。

闘えば絶対に勝てる！！勝利まで共に闘おう！！

織田陽介

(全学連委員長)

受けた恩は運動で返す



奪還されて2週間、食べるものがうまい！歩いているだけで楽しい！毎日を勝利感いっぱい過ごしています。暴処法という希代の悪法を相手に、検事側立証を膨大に残しての保釈奪還。正直驚いていますが、たくさんの支援・共闘の実態を知るほどに納得がいくような気がしています。感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます！私が獄中にいる間に世界の政治情勢は大きく回転し、2010年は日本のプロレタリアート人民

とその党の力が厳しく試される年となるようです。奪還された8人の心からの団結、指導部を奪われた中で成長した仲間の姿、そして国際連帯の豊かな前進は、09年の闘いがこうした決戦に見合うものとしてあったことを疑いようもなく確信させてくれるものでした。私自身、自慢できるほどではないにせよ、理論を学ぶことができ、この激動に自らがどれだけ通用するか、とても楽しみです。受けた恩は運動で返すべく、ますます元気に闘います。今年もよろしくお願ひします！

恩田亮

(法大文化連盟副委員長)

万国の若者、学生は 世の欺瞞を打破しよう

4月24日に不当逮捕されてから数えて8ヶ月超の長期勾留を強いられました。授業では「友達みたいな良い先生」を演じて、その反面、共産主義者や政治的抵抗層の人間たちに犯罪行為を働く大学教授らに抗議をしてきたことがこの国では罪になるようなのです。一方で人権を語り、もう一方では共産主義者に問答無用の鉄拳制裁を科す人間が善良な市民とされ、それに抗議をする人間が過激派と呼ばれるこの社会、過激なのはどっちでしょう



たくさんの差し入れ、ありがとうございました

か。本来ならば大学が世俗や権力を監視し、批判を加えるのですが、残念ながら21世紀なってもこの国では学の独立は確立されていません。現代世界の台頭イデオロギーである市場原理至上主義を精神的支柱にしたいと思っているようです。万国の若者、学生が世の欺瞞を打破しようともがいていますから、自分も心的連帯し、自分の持ち場で自分の闘いを続けていきます。獄中生活へのご支援、本当にありがとうございました。

倉岡雅美

(全学連副委員長)

全ては力関係！ 団結勝負！



「ただちに保釈しろ！」の巨大な怒りと裁判所を揺るがす運動により私たち8人は年内に保釈されました！検事側立証が終わっていない段階で保釈されること

はないに等しい状況下で、力づくでひっぱり出されたと言っても過言ではありません。文字通り常識をぶち破る闘い一法の枠内ではない、すべては力関係で裁判所・検察庁という国家権力の中枢機関を敵に回して私たちは勝利したのです☆改めて御礼を申し上げます。ありがとうございました。

また裁判闘争では裁判員裁判が開始されるなど裁判のありかたそのものが大きく転換される時に「被告人が主役である」という原則を一步も譲らず闘ってきました。とりわけ

刑事17部登石裁判長の被告人の意見すら認めない魔女裁判を彷彿とさせる訴訟指揮のでは、弁護団・被告団・傍聴席が一体となって被告人の意見陳述も勝ち取ってきました。それは司法制度改革がもたらした「迅速化」＝被告人無視との闘いでもありました。

法大資本を打倒するその日まで私たちの闘いは終わることはありません。これからも法大闘争をよろしくおねがいします。ともに突き進んでいきましょう！

齋藤郁真

(法大文化連盟委員長)

常識打ち破った この力で共に闘おう



あけましておめでとうございます！
皆様の厚いご支援により8名全員、年内に奪還され、外で新年を迎えることができました。本当にありがとうございました！

まずは戦後数十年にわたって司法の世界の常識であった「黙秘・否認事件の場合、検察立証の終了まで保釈はきかない」を吹き飛ばした、この勝利を確認したいと思います。これは本当にスゴイことです。ストライキやデモもほんの200年ほど前は違法な行動でしたが、権利として勝ち取られていったように、人類の権利はこうやって獲得されていくのだな、と素直に思えます。もちろん、裁判員制度のようななにがしかの「制度」を廃止したわけではなく、その意味で小さいと言え小

さいかもしれませんが、21世紀に入って本格化した司法改革の荒波の中でのこの勝利は確実に大きなものだと言えるでしょう。

状況が状況なので、今年も大きな弾圧が予想されますが、司法の常識を打ち破ったこの力で共に闘っていきましょう！

富山小太郎

(全学連書記長)

我々の団結こそが 新たな世界の権威に



すべての労働者・学生の皆さん！私たち全学連・文化連盟の学生8人は、昨年12月22日と28日、ついに東京拘置所から奪還されました！

すべての労働者・学生の皆さん！私たち(元)獄中8同志は、国家権力による不当逮捕・起訴、超長期拘留を打ち破り、皆さんと共に闘う戦列へと、ついに復帰を果たしました！

すべての労働者・学生の皆さん！私たち闘う労働者・学生は、国家権力の全体重をかけた団結破壊攻撃に対し、団結の拡大でもってこれを跳ね飛ばし、2009年内全員奪還という奇跡的ともいえる勝利を勝ち取りました！

すべての労働者・学生の皆さん！支配者の権威はもはや地に落ちています。われわれの団結こそが新たな世界の権威、人間の共同性という権威となりつつある！なんという勝利感、なんという力強さ、なんという喜びでしょ

う！

支援してくださったすべてのみなさん。本当にありがとうございます！言葉にならないほどの感謝と心からの団結をこめて、固い握手とハグを送ります。握手！ハグ！

増井真琴

(法大文化連盟企画局)

原則的にねばり強く、 ラディカルに



出獄以後、娑婆最高っ！、と日々楽しみながら下界の生活を満喫しています。年内の奇跡的奪還を含め（暴処法検察側証人は21分の5しか

終わっていない！）、これらすべては獄内外の団結した力によるものです。ご支援を賜った労働者・学生の皆様に心からの感謝の気持ちを表明したい。本当にありがとうございました。

いま法政大学では来年度、つまり今年の春からの学内全面禁酒が大学当局と体制内執行部の手により画策されていることが判明しました。

ここでぼくたちが絶対に忘れてはならないことは、この飲酒規制に至るまでにはその布石となる種々の規制（＝弾圧）が施行（＝敢行）され続けてきたということです。物事には総じて歴史的文脈があります。90年代末学生自治会非公認化→学生会館学生連盟非公認化→04年学生会館解体→06年3.14

弾圧→07年学友会（文化連盟）解体→08年学生ホール撤去→09年学祭時夜間禁酒。そして2010年、24時間キャンパス全面禁酒。

この文脈を踏まえた時、ぼくたちには目前にある政治的課題を矮小化することなく原則的に闘っていくことが求められます。ぼくたちは歴史を学ばなければならない。「学生会館が無くなってもサークル活動はできる！」と唱えた当時の学館官僚はサークルの公認団体連合である学友会（文化連盟）を守れなかったし、「学友会（文化連盟）が無くなってもサークル活動はできる！」と称した旧学友会執行部は未公認サークルの溜まり場である学生ホールを守ることができなかった。そして「学生ホールが無くなっても学祭がある限り法大学生文化は不滅だ！」と騙った学園祭実行委員会は20時以降の学祭禁酒を追認し、その結果今年春からのキャンパス全面禁酒へと至ってしまった。一つが全部で、全部が一つです。

ぼくたちは一つ一つの個別具体的な政治規制に通底する大学・統治権力当局の政治的意志を見過ごしてはならない。それは大学においては「教育の民営化」ということであり、全社会的には「新自由主義」ということになるのだらうと思います。現在は本来は手垢にまみれたものであるはずの「戦後民主主義」がラディカルになり得る時代です。だからこそぼくたちは、あくまでも原則的にねばり強く、それ自体は「半革命」的である「戦後民主主義」をラディカルに戦い続けることが肝要です。文化連盟は一人の仲間も見捨てない。共に闘いましょう。

国鉄1047名解雇撤回！ 検修全面外注化阻止！ 反合理化・運転保安確立！

2・13全国労働者総決起集会



- 日時：2月13日（土）午後1時～
東京・代々木公園B地区野外ステージにて
*集会終了後、JR東日本本社（新宿）へ
抗議デモ（写真は昨年10・16行動）
- 呼びかけ団体：国鉄千葉動力車労働組合、
国鉄水戸動力車労働組合など5労組・団体

昨年の8学生奪還の勝利をバネに、動労千葉が「2・13全国労働者総決起集会」を呼びかけています。

JR東日本は、今年4月1日以降、車両の検査・修繕業務を丸投げ的に外注化しようとしています。すでに線路などの保守業務は全面外注化が強行され、駅員や車掌も、どんどん無権利・超低賃金の非正規職労働者に置き換えられています。その結果、線路はガタガタになり、車両故障も激発しています。こんなことを続けたら安全は崩壊し、間違いなく「第二、第三の尼崎事故」が起きます。

あらゆる企業がこんなことを続けた結果、雇用が破壊され、派遣切りが横行し、ワーキングプア、貧困が蔓延し、教育・医療・社会保障をはじめ社会全体が壊れようとしている

というのに、JR東日本は「利潤の最大化」をかけ声に、安全を投げ捨てて業務を外注化し、無数の労働者を非正規職に突き落とそうとしているのです。

多くの労働組合の幹部たちがこうした攻撃に屈服し、その手先になってきました。動労千葉は「こんな現実を断ち切って、労働組合を甦らせよう」と、労働者の未来をかけてJR資本との闘いに立ち上がります。

2010年、動労千葉とともに、国鉄1047名解雇撤回！ 戦争と首切りの民主党・連合政権を打ち倒そう！ 2・13全国労働者総決起集会への結集を心から訴えます。

◇詳しくは「国鉄千葉動力車労働組合」のホームページをご覧ください。

<http://www.doro-chiba.org/>

多大なるカンパ、差し入れありがとうございました

全国の仲間のみなさん！ これまで本当に多額のカンパをいただき、心から感謝を申し上げます。年末の保釈金カンパの要請にも全力で応えていただいたことが、8学生を取り戻す最後の最後の力になりました。

また、8学生に対する書籍の差し入れ

や遠方から東京拘置所に差し入れに来ていただいたことで不当な接見禁止の攻撃をはね返し、団結を守り抜くことができました。みなさんのおかげで8学生は2010年をこれまで以上に元気に闘うことができます。今後とともに闘いましょう！